

総務教育常任委員会資料

(平成23年11月29日)

【件名】

1	江原道教育庁訪問団の来県について（教育総務課）	1
2	鳥取西高等学校の整備方針（案）について（教育環境課・文化財課）	3
3	一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）	4
4	少人数学級の拡充について（小中学校課）	5
5	県立高等特別支援学校の校名等について（特別支援教育課）	7
6	平成24年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（10月末現在） について（高等学校課）	8
7	鳥取県最古の旧石器時代の集落跡の発見について（文化財課）	10
8	第66回国民体育大会における鳥取県選手団の成績について （スポーツ健康教育課）	12

教育委員会

江原道教育庁訪問団の来県について

平成23年11月29日
教 育 総 務 課

1 期 間 平成23年10月18日（火）～21日（金）（3泊4日）

2 来 県 者 関丙熹（ミン・ビョンヒ）教育監
金基仁（キム・ギイン）創意人材課長
崔乘明（チェ・スンミョン）国際教育担当・奨学官
孫鎬重（ソン・ホジュン）教育監秘書室長
崔日豪（チェ・イルホ）国際教育担当・奨学士
張善姬（チャン・ソニ）主務官
崔商烈（チェ・サンヨル）通訳

3 概 要

10月18日 知事表敬訪問
本県の教育施策説明
平成24年度教育交流事業協議

10月19日～21日 学校訪問等

[鳥取市立東中学校]

- ・授業参観（エキスパート教員：音楽授業）
- ・学校概要説明、意見交換



[鳥取県立鳥取聾学校]

- ・授業参観（外国語指導助手（ALT）による英語授業）
- ・学校概要説明、DVD視聴（写真部の活動の様子）



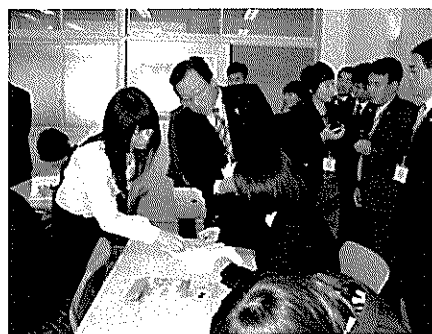
[鳥取市立醇風小学校]

- ・ 学校概要説明、意見交換
- ・ 授業参観、地域ボランティアによる読み聞かせ（図書館）



[鳥取県立倉吉総合産業高等学校]

- ・ 学校概要説明、意見交換
- ・ 授業参観（外国語指導助手（ALT）による韓国語授業）



[鳥取県立倉吉東高等学校]

- ・ 学校概要説明、意見交換
- ・ 授業参観（英語、数学授業等）



[鳥取県立大山青年の家]

- ・ 野外活動風景（境港：上道小学校野外活動）視察
- ・ 敷地内施設等視察
- ・ 施設概要説明、意見交換



4 今後の予定

平成24年1月頃、来年度実施する事業を協議するため、実務協議団が来県の予定。

鳥取西高等学校の整備方針（案）について

H 2 3 . 1 1 . 2 9

教育環境課・文化財課

1 整備方針

- 鳥取西高等学校整備のあり方検討会の検討結果などを踏まえ、生徒の安全確保を最優先とし、これまで進めようとしていた現地改築ではなく、現在の校舎の耐震改修を実施する。
- 工事期間中は教育活動に支障を及ぼさないように努めるとともに、仮設校舎の整備などを図りながら工期の短縮に努める。
- 耐震改修の実施に当たっては、財政面も勘案しながら、教育環境の改善を進める。
- 文化庁、鳥取市と十分な調整を行い、文化財の保護を図りながら工事を実施する。
- 文化財を活かしたまちづくり、県民が史跡に親しむ機会の提供にも配慮した施設整備を実施する。

(1) 教育環境の改善

教育環境の改善のため、耐震改修工事に併せて次のような整備を実施する。

- ①老朽化した施設設備や内装等を改修する。
- ②渡り廊下のフラット化や、多目的トイレ、手すり、スロープの整備など、バリアフリー化を進める。
- ③生徒の文化芸術活動等のための施設の充実を図る。

(2) 緊急車両の通路の確保

現在の正面通路が、城跡の整備に伴い車両の通行が出来なくなることから、緊急車両の通路を確保するため、文化庁、鳥取市と協議しながら代替通路を整備する。

(3) 災害時の避難所としての整備

災害時の避難所として必要な施設・設備等を整備する。

(4) 史跡との共存

- ①特別教室棟等の撤去により、史跡内の建築総面積を減少させる。
- ②石垣の顕在化と、保守管理に必要な管理道路を整備する。
- ③工事は、地下遺構に影響を及ぼさない工法で実施する。
- ④景観と調和した色彩の外装に改修する。
- ⑤復元された大手筋の櫓・門や校舎整備に伴う発掘調査現場を歴史学習の場として活用する。
- ⑥調査で明らかになった地下遺構の公開に努めるとともに、史跡の案内・説明板等の整備を進める。

(5) 県産材の活用

整備に際しては、可能な限り県産材を使用する。

2 史跡外への移転

移転が前提であること、鳥取西高等学校整備のあり方検討会で移転に関し異なる意見があったことを踏まえ、今後、文化庁と協議を進めていく。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		教育環境課	
工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額
県立倉吉養護学校高等学校南棟新築工事（建築）	倉吉市長坂新町	有限会社向井組	183,750,000円 （予定価格 202,461,000円）
			平成23年10月4日～ 平成24年3月15日
			平成23年10月3日
			摘要

【変更分】		教育環境課	
工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額
県立鳥取工業高等学校共通実習棟耐震改修工事（建築）	鳥取市生山	こおげ建設株式会社	契約金額 133,035,000円を 133,952,700円 (917,700円増額) に改める。
			平成23年5月19日～ 平成23年10月31日 (変更なし)
			平成23年10月28日 (第1回変更)
			(変更理由) 設備配管貫通処理、既存柱の補修等の追加を行ったため。
県立青谷高等学校教室棟耐震改修工事（建築）	鳥取市青谷町青谷	田中工業株式会社	契約金額 132,825,000円を 133,121,100円 (296,100円増額) に改める。
			平成23年4月4日～ 平成23年10月31日 (変更なし)
			平成23年10月21日 (第1回変更)
			(変更理由) 既存地中梁の補強等の追加を行ったため。
県立岩美高等学校教室棟耐震改修工事（建築）	岩美郡岩美町浦富	やまこ建設株式会社	契約金額 192,570,000円を 194,090,400円 (1,520,400円 増額)に改める。
			平成23年4月15日～ 平成23年10月31日 (変更なし)
			平成23年10月21日 (第1回変更)
			(変更理由) 外壁の補修等の追加を行ったため。
県立智頭農林高等学校教室棟耐震改修工事（建築・電気設備）	八頭郡智頭町智頭	八幡コーポレーション株式会社	101,955,000円 (変更なし。12月 月上旬に増額変更を 予定)
			平成23年5月25日～ 平成23年12月20日 (変更前：平成23年 10月31日まで)
			平成23年10月28日 (第1回変更)
			(変更理由) 防水工事の追加を行ったため。
県立米子工業高等学校既存校舍解体工事（A工区）	米子市博労町四丁目	やまこ建設株式会社	契約金額 116,445,000円を 117,271,350円 (826,350円増額) に改める。
			平成23年4月21日～ 平成23年10月31日 (変更なし)
			平成23年9月30日 (第1回変更)
			(変更理由) 校舍解体工事により確認された地下工作物の解体処分等の追加を行ったため。
県立米子工業高等学校既存校舍解体工事（B工区）	米子市博労町四丁目	馬野建設株式会社	契約金額 126,525,000円を 127,009,050円 (484,050円増額) に改める。
			平成23年4月1日～ 平成23年10月31日 (変更なし)
			平成23年9月30日 (第1回変更)
			(変更理由) 校舍解体工事により確認された地下工作物の解体処分等の追加を行ったため。

少人数学級の拡充について

平成23年11月29日
小 中 学 校 課

1 市町村に示した基本的な考え方

- 小学校1・2年、中学校1年の1/2協力金を廃止し、単県費で少人数学級を実施する。
- 市町村が1/2協力金に充てていた財源を活用して、県は市町村と協力して他学年へ少人数学級等を拡充する。
- 協力金については、これまでの考え方を継続して、1/2協力金は200万円、全額協力金は約500万円とする。

2 拡充方法

(1) 対象学年、学級規模

- ① 平成24年度より小学校3～6年、中学校2・3年→35人以下学級
- ② 小学校1・2年→30人以下学級、中学校1年→33人以下学級は継続

(2) イメージ図

《現行》

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	40	40	40	40	33	40	40

単県費



《平成24年度以降》

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	35	35	35	35	33	35	35

200万円
協力金

500万円
協力金

※市町村がさらに少人数学級を拡充する場合

[例：小3・4、中2で500万円協力金を活用して少人数学級を拡充]

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	30	30	35	35	33	33	35

3 これまでの協議等の経過

(1) 市町村教育委員会との意見交換

- ・地区別開催 第1回 5/16 (東・中部)、5/18 (西部)
第2回 7/6 (東・西部)、7/7 (中部)
- ・ヒアリング 8/31～9/9 (若桜町を除く18市町村)

(2) 今後の少人数学級検討委員会 (学校、保護者、市町村教育委員会代表が参加)

- ・第1回 7/4 第2回 8/4

(3) 県・市町村行政懇談会 11/16

(4) 知事記者会見 11/17



少人数学級を拡充した場合のシミュレーション

	財政負担										A町の 増教員数			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	所要 人件費(県)		協力金 の総額	A町の 協力金	
現 行	30	30	40	40	40	40	33	40	40	40	7.9億	2億	1.2千万	6
24年度	30	30	35	35	35	35	33	35	35	35	16.7億	2.1億	1.4千万	7

※A町が全額協力金でさらに小3・4、中2に拡充した場合

24年度	30	30	30	30	35	35	33	33	35	35	+2.3千万	+1.5千万	+3
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	--------	--------	----

@5,000千円×3

※1 増教員数は、平成24年度の児童・生徒数推計(H23.9月現在)をもとにして算出。

※2 財政負担について、人件費@7,786千円(トータルコスト)、1/2協力金@2,000千円、全額協力金@5,000千円で算出

県立高等特別支援学校の校名等について

平成23年11月29日
特別支援教育課

1 校名及び学科名について

11月定例教育委員会において、県立高等特別支援学校の校名及び学科名を次のとおり決定しました。

1 学校の名称は、「鳥取県立琴の浦高等特別支援学校」とする。

【理由】 旧赤碕町から旧東伯町の海岸一帯の呼称で趣があり、響きのやわらかさが優しさを感じさせる名称である。学校が設置される地域の名称を入れることにより、地域に愛され、地域と一帯となった取組を進めていくことが期待される。

2 学科の名称は、「生産流通科」及び「サービスビジネス科」とする。

【理由】 生徒が志を持って学び、就労を目指すという学校設置の趣旨に添い、取り扱う作業種目をイメージしやすいものとした。

(参考) 生産流通科…農業、食品衛生、流通
サービスビジネス科…サービス（接客・介護）、ビルメンテナンス、事務オフィス

○ 校名決定に係るこれまでの経緯

平成23年7月12日～8月31日	校名を公募（県内在住者を対象）
9月20日	校名選考委員会開催（校名候補3点を決定）
10月24日	定例教育委員会委員協議会で協議
11月18日	定例教育委員会に付議・議決

○ 校名公募の応募状況

〔応募総数 72件、応募者数 52名、応募校名案 71件〕

2 選抜日程について

9月常任委員会で報告した県立高等特別支援学校入学者選抜方針の基本的な考え方に沿って、10月定例教育委員会において、同方針を決定しました。選抜に係る日程は以下のとおりです。

	一般入学者選抜	再募集入学者選抜
出願期間	平成24年11月20日（火） ～ 平成24年11月22日（木）	平成25年1月15日（火） ～ 平成25年1月16日（水）
検査実施日	平成24年12月11日（火） 及び 平成24年12月12日（水）	平成25年1月24日（木）
合格発表	平成24年12月20日（木）	平成25年1月30日（水）

平成24年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（10月末現在）について

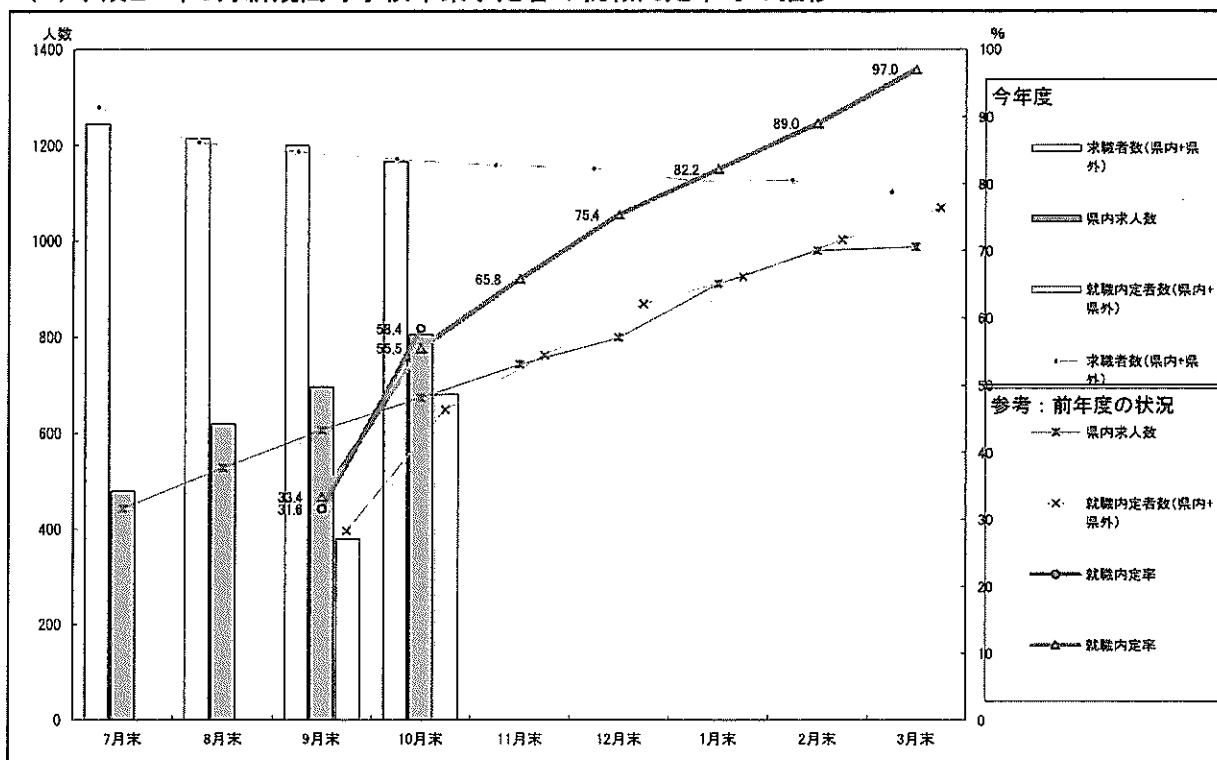
平成23年11月29日

高等学校課

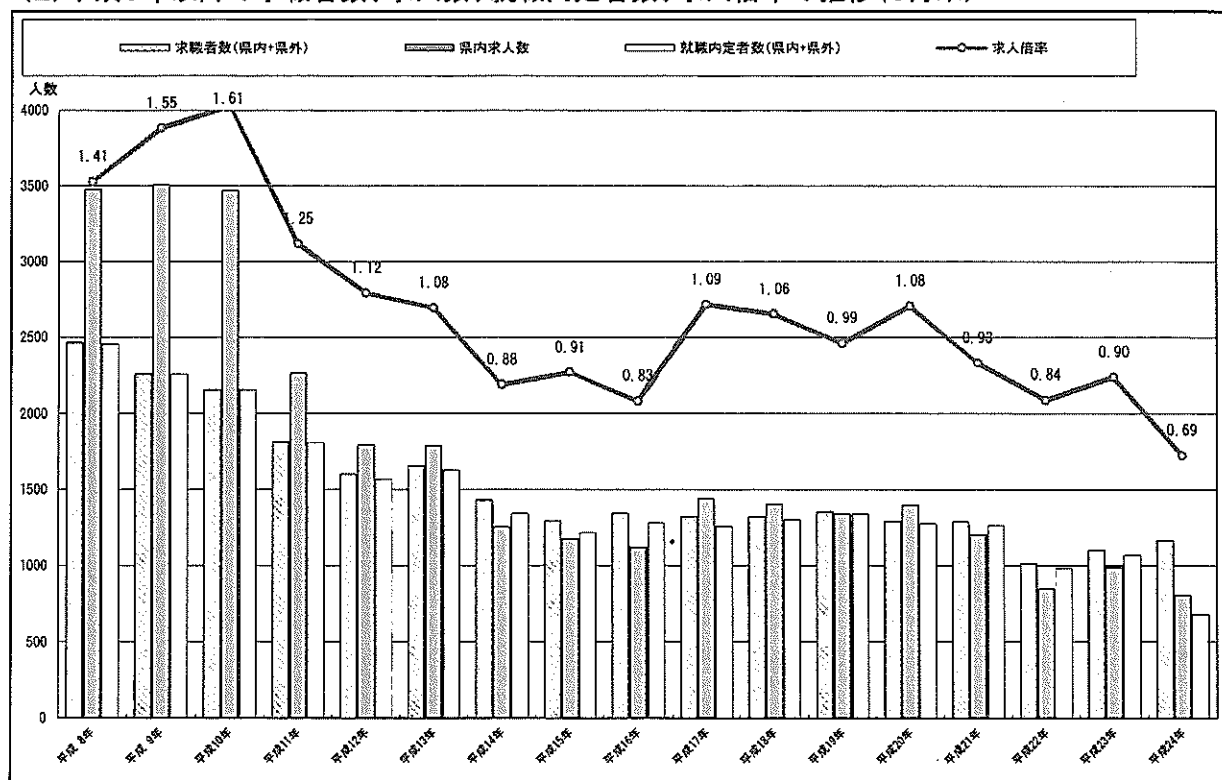
1 厚生労働省の基準による調査

全日制高等学校、定時制高等学校、特別支援学校高等部及び米子北高等学校看護専攻科において、平成24年3月卒業予定者のうち公共職業安定所または学校を通して求職している者のみを対象とした調査。

(1)平成24年3月新規高等学校卒業予定者の就職内定率等の推移



(2)平成8年以降の求職者数、求人数、就職内定者数、求人倍率の推移(3月末)



※平成24年は10月末現在の数値

(3) 求職者の状況

- ・求職者数は1,167人で、前年同期に比べ0.4%、実数で5人の減少。
- ・卒業予定者に占める求職者の割合(就職希望率)は21.4%で、前年同期に比べ0.6ポイントの上昇。

年月	項目	卒業予定者(人)			求職者数(人)			就職希望率(%)		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成23年10月末		5,453	2,683	2,770	1,167	674	493	21.4	25.1	17.8
平成22年10月末		5,642	2,866	2,776	1,172	662	510	20.8	23.1	18.4
平成23年3月末		5,612	2,852	2,760	1,103	627	476	19.7	22.0	17.2

- ・県内就職を希望する求職者は948人で、前年同期に比べ5.0%、実数で45人の増加。
- ・求職者全数に占める県内就職を希望する求職者の割合は81.2%で、前年同期に比べ4.2ポイントの上昇。

年月	項目	県内就職を希望する求職者(人)				県内就職希望率(%)			
		計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成23年10月末		948	349	143	456	81.2	82.7	72.6	83.2
平成22年10月末		903	314	167	422	77.0	83.3	75.6	73.5
平成23年3月末		860	286	167	407	78.0	82.9	77.3	75.1

【参考】求職者数(県内・県外)の推移

年月	項目	求職者数(人)			求職者の構成比(%)	
		計	県内	県外	県内	県外
平成23年10月末		1,167	948	219	81.2	18.8
平成22年10月末		1,172	903	269	77.0	23.0
平成21年10月末		1,152	885	267	76.8	23.2
平成20年10月末		1,361	1,031	330	75.8	24.2

(4) 求人状況

- ・県内求人数は805人で、前年同期に比べ19.4%、実数で131人の増加。
- ・県内求人の求人倍率は0.69倍で、前年同期に比べ0.11ポイントの上昇。
- ・県外からの連絡求人は前年同期に比べ5.3%、実数で18人の減少。

【参考】

年月	項目	県内求人数(人)	求人倍率(倍)	求人倍率(倍)	
				県外からの連絡求人(人)	県外からの連絡求人(人)
平成23年10月末		805	0.69	321	0.85
平成22年10月末		674	0.58	339	0.75
平成23年3月末		988	0.90	355	1.15

*求人倍率は、県内求人数を求職者全数で割ったもの。

県内就職希望者の求人倍率は、県内求人数を県内就職を希望する求職者数で割ったもの。

県外就職希望者の求人倍率は、県外からの連絡求人(人)を県外就職を希望する求職者数で割ったもの。

(5) 就職内定者の状況

- ・就職内定者数は681人で、前年同期に比べ4.8%、実数で31人の増加。
- ・就職内定率は58.4%で、前年同期に比べ2.9ポイントの上昇。

年月	項目	就職内定者数(人)				就職内定率(%)			
		計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成23年10月末		681	217	143	321	58.4	51.4	72.6	58.6
平成22年10月末		650	187	141	322	55.5	49.6	63.8	56.1
平成23年3月末		1,070	338	215	517	97.0	98.0	99.5	95.4

- ・県内就職を希望する求職者の就職内定率は53.4%で、前年同期に比べ3.6ポイントの上昇。

年月	項目	県内・県外別、地域別就職内定率(%)											
		計	県内	県外	東部	県内	県外	中部	県内	県外	西部	県内	県外
平成23年10月末		58.4	53.4	79.9	51.4	47.3	71.2	72.6	68.5	83.3	58.6	53.3	84.8
平成22年10月末		55.5	49.8	74.3	49.6	45.5	69.8	63.8	58.1	81.5	56.1	49.8	73.7
平成23年3月末		97.0	96.3	99.6	98.0	97.6	100.0	99.5	99.4	100.0	95.4	94.1	99.3

以上のデータは、鳥取労働局職業安定部による

鳥取県最古の旧石器時代の集落跡の発見について

平成23年11月29日
文化財課

一般国道9号（名和淀江道路）の改築に伴い国土交通省倉吉河川国道事務所から委託を受けて発掘調査を実施している「豊成叶林遺跡（とよしげかのうばやしいせき）」（西伯郡大山町豊成、調査面積2,598㎡）において、今から28,000年以上前の県内最古の旧石器時代の集落跡を確認しました。

1 発見した旧石器時代の集落跡の概要

（1）旧石器時代の暮らしの痕跡そのものを確認

約28,000年前に降下した始良丹沢火山灰層（AT）の下から、旧石器時代に特徴的なナイフ形石器を含む石器など（写真1・2）がまとまって出土（石器ブロック）し、あわせて、^{あいらたんざわかざんばい}焚き火の跡を確認しました。これらの状況からみて、焚き火をしながら石器作りを行っていたという旧石器時代の暮らしの痕跡そのもの、いわば「石器時代のムラ」を発見したといえます。

（2）遺跡全体を明らかにできる県内最古の遺跡

本例以外に県内で旧石器時代の地層から石器ブロックが発見されたのは、「^{もんぜんだい いせき}門前第2遺跡」（西伯郡大山町門前、平成16年度に名和町教育委員会＜当時＞が調査）のみであり、いずれもほぼ同時代で県内最古の遺跡といえます。「門前第2遺跡」の場合は約10㎡の部分的な発掘調査で、情報が限定的でしたが、本例は、広い面積を発掘調査しており、遺跡の全体像を明らかにすることができました。

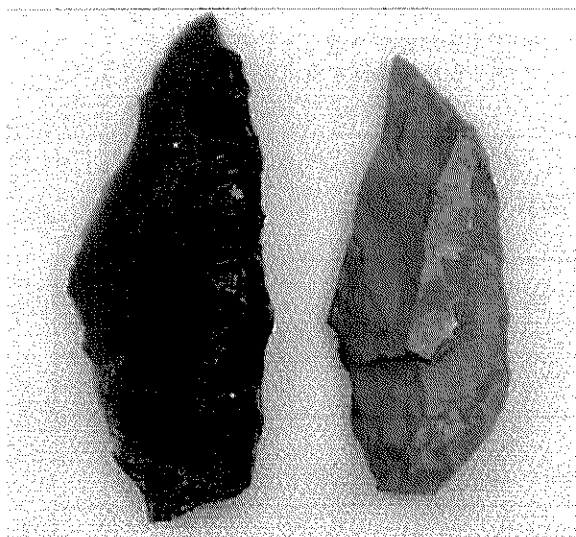


写真1 出土したナイフ形石器左：黒曜石製で長さ3.3cm、右は玉髓製で長さ2.8cm)

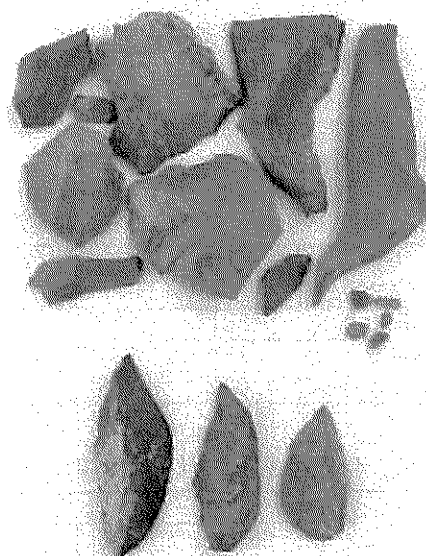
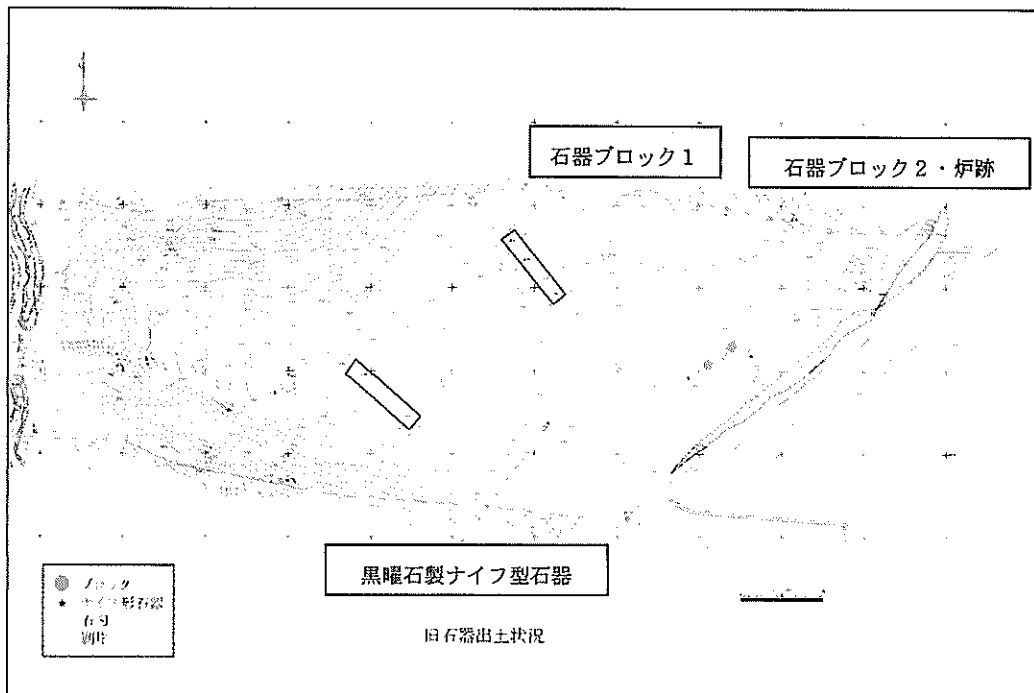
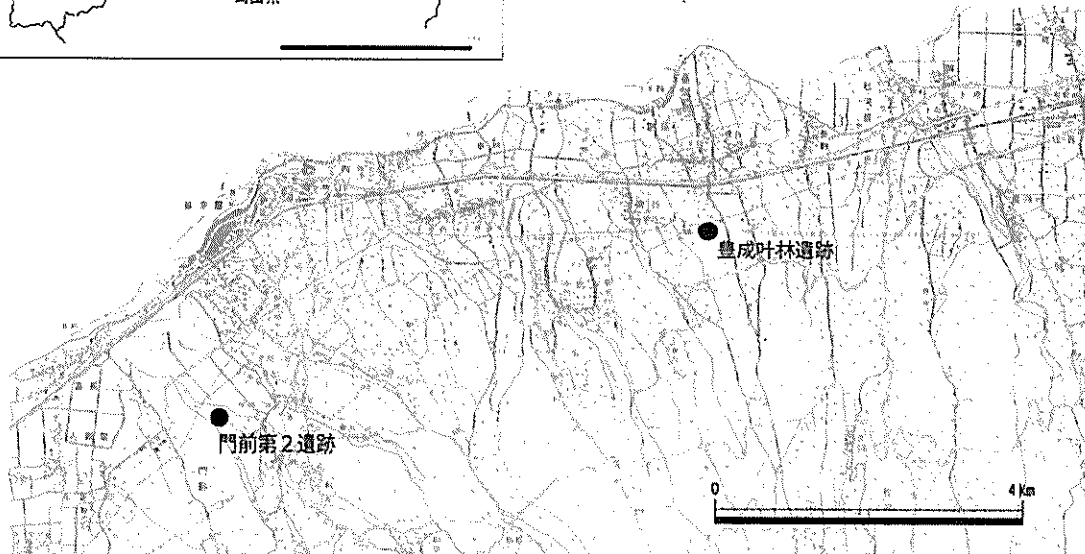
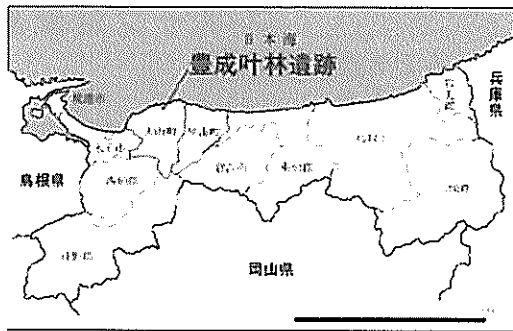


写真2 玉髓製のナイフ形石器（下段3個）と剥片ほか



【石器ブロック1】
 直径約1mの範囲に、41点の石器が集中。完成された石器は見当たらず、ほとんどが小さな石片。これらは、石器の素材になる剥片（かけら）を取った時に生じたクズで、小さくなった原材料を大切に割った跡と考えられる。

【黒曜石製ナイフ形石器】
 隠岐の黒曜石で作られたナイフ形石器が1点だけ出土。遺跡を残した人々の活動範囲の広さを示すもの。

【石器ブロック2・炉跡】
 石器ブロック2には、直径約2.5cmの範囲で、薄紫色の粘土塊が集中する部分がある。これは、石器を含む地層の粘土が熱を受けて変色したものだ。この部分を中心に炭粒が見つかることから、炉跡である可能性が高いと考えられる。このことから、ブロック2ではたき火をしながら石器作りをしていたと考えられる。また、ブロック2では、直径1mの範囲から34点の石器が出土。石器ブロック1と同様に小さな石片が多い一方で、完成品であるナイフ型石器が4点含まれる点が注目される。

第66回国民体育大会における鳥取県選手団の成績について

平成23年11月29日

スポーツ健康教育課

男女総合成績（天皇杯） 44位 得点628点

女子総合成績（皇后杯） 41位 得点380点

季別	No.	競 技 名	天皇杯得点及び順位			皇后杯得点及び順位			
			参加得点	競技得点	合計得点	参加得点	競技得点	合計得点	
冬 季	1	スケート	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
		フィギュア		0 (0)			0 (0)		
	2	アイスホッケー	10	0 (0)	10	—	—	—	
	3	スキー	10	0 (0)	13	10	0 (0)	10	
				3 (0)			0 (0)		
	ジャンプ	0 (0)							
	冬季小計	30 (30)	3 (0)	33 (30)	20 (20)	0 (0)	20 (20)		
	順位		33位	(32位)		24位	(25位)		
本 大 会	1	陸上競技	10	20 (25)	30	10	6 (5)	16	
	2	水泳	10	競泳	1 (0)	56	10	0 (0)	10
				飛込	10 (17)			0 (0)	
				水球	35 (30)			—	
				シンクロ	0 (0)			0 (0)	
	3	サッカー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	4	テニス	10	0 (18)	10	10	0 (6)	10	
	5	ボート	10	17 (35)	27	10	13 (29)	23	
	6	ホッケー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	7	ボクシング	10	0 (0)	10	—	—	—	
	8	バレーボール	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	9	体操	10	競技	0 (0)	10	10	0 (0)	10
				新体操	0 (10)			0 (10)	
	10	バスケットボール	10	0 (12.5)	10	10	0 (0)	10	
	11	レスリング	10	10 (17)	20	—	—	—	
	12	セーリング	10	2 (0)	12	10	0 (0)	10	
	13	ウエイトリフティング	10	0 (0)	10	—	—	—	
	14	ハンドボール	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	15	自転車競技	10	18 (6.5)	28	—	—	—	
	16	ソフトテニス	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	17	卓球	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	18	軟式野球	10	0 (0)	10	—	—	—	
	19	相撲	10	40 (12.5)	50	—	—	—	
	20	馬術	10	8 (1)	18	10	0 (1)	10	
	21	フェンシング	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	22	柔道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	23	ソフトボール	10	20 (0)	30	10	20 (0)	30	
	24	バドミントン	10	15 (15)	25	10	15 (15)	25	
	25	弓道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	26	ライフル射撃	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	27	剣道	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	28	ラグビーフットボール	10	0 (0)	10	—	—	—	
	29	山岳	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	30	カヌー	10	12 (13)	22	10	12 (2)	22	
	31	アーチェリー	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10	
	32	空手道	10	8 (13)	18	10	8 (13)	18	
	33	銃剣道	10	0 (0)	10	—	—	—	
34	クレール射撃	10	3 (0)	13	—	—	—		
35	なぎなた	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
36	ボウリング	10	0 (0)	10	10	0 (0)	10		
37	ゴルフ	10	6 (4)	16	10	6 (1)	16		
	小計	370 (370)	225.0 (229.5)	595.0 (599.5)	280 (280)	80.0 (82.0)	360.0 (362.0)		
			44位	(46位)		39位	(43位)		
総 計		400 (400)	228.0 (229.5)	628.0 (629.5)	300 (300)	80.0 (82.0)	380.0 (382.0)		
			44位	(46位)		41位	(42位)		

第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」入賞者一覧

- 1 会 期 平成23年10月1日(土)～10月11日(火)
 ※会期前開催 9月7日(水)～9月15日(木)
- 2 会 場 山口県内一円(一部広島県)
- 3 競技数 37競技(鳥取県は31競技出場) ※公開競技を除く

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)	
陸上	成年男子	110mH	4	5	西澤 真徳(鳥取県教育委員会)	
		ハンマー投	3	6	赤穂 弘樹(大阪体育大学)	
		1500m	6	3	田村 大輔(自衛隊体育学校)	
	成年女子	走幅跳	7	2	湊 つばさ(鳥取県教育委員会)	
	少年女子	走高跳	5	4	萩原くらら(倉吉東高校)	
水泳	競泳	成年男子	50m自由形	8	1	松浦 稔(岡山大学)
	飛込	成年男子	飛板飛込	3	6	安永 元樹(日本体育大学)
			高飛込	5	4	宮本幸太郎(鳥取県体育協会)
	水球	少年男子	団体	2	35	秋月 一真 天野 祐人 片山 勇 島田 元輝 深田 隼輔 三原 真人 山根 拓也 中下 拓耶 芦川 史弥 橋本 純平 三原 大地 (鳥取中央育英高校)
ボート	少年男子	シングルスカル	5	4	石畑祥太郎(米子工業高等専門学校)	
	少年女子	シングルスカル	6	3	橋本 恵美(鳥取商業高校)	
		舵手付きクォドルプル	7	10	山本 晴菜 徳永 百合 富田 千愛 福谷紗也加 渡瀬 祐子 相見 晴奈 (米子東高校)	
レスリング	成年男子	フリースタイル74kg級	5	2.5	濱田 浩見(鳥取県体育協会)	
		グレコローマンスタイル120kg級	5	2.5	山中 健嗣(大山乳業農業協同組合)	
	少年男子	フリースタイル50kg級	5	2.5	濱本 翼(倉吉総合産業高校)	
		グレコローマンスタイル66kg級	5	2.5	前田 祐也(倉吉総合産業高校)	
セーリング	成年男子	国体シングルハンダー級	7	2	八木谷 允(NECシステムテクノロジー)	
自転車	成年男子	スプリント	4	5	中尾 翔	
	少年男子	1kmタイムトライアル	2	7	佐伯 亮輔(倉吉西高校)	
	男子	4km団体追抜競走	7	6	八田 憲(中央大学) 前田 紘明(順天堂大学) 今西 薫(朝日大学) 佐伯 亮輔(倉吉西高校) 金田 聡士(倉吉西高校)	

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)	
相撲	成年男子	個人	1	-	山口 雅弘(日本大学)	
	少年男子	団体	1	40	木崎 信志 佐々木耕大 宮下 治也 福田秀一郎 アタシヤ・イソノフ 谷本 将也 中島 望(鳥取城北高校)	
			個人	1	-	木崎 信志(鳥取城北高校)
		個人	2	-	アタシヤ・イソノフ(鳥取城北高校)	
馬術	少年	団体障害飛越	1	8	原 雅貴(箕蚊屋中学校) 西濱 童夢(県馬術連盟)	
ソフトボール	少年女子	団体	5	20	山科麻由佳 松本 彩絵 三好 利沙 向田 希望 好川真悠子 押尾 莉沙 森光 眞子 仲宗根香奈 森 萌香 (鳥取城北高校) 佐伯 彩桂(倉吉総合産業高校) 竹内 夢(鳥取商業高校) 角 綺華 宇田川郁美(米子松蔭高校)	
バドミントン	成年女子	団体	4	15	日野由希江(鳥取県教育委員会) 宮崎 優花 藤原 由衣(三洋電機CE)	
カヌー	成年女子	スラローム K-1	25G	8	1	遠藤絵里子
			15G	6	3	
		ワイルド ウォーター K-1	スプリント	3	6	福本かな子(米子白鳳高校)
			1500m	7	2	
空手道	成年女子	形	1	8	宇佐美里香(鳥取県教育委員会)	
クレー射撃	スキート	団体	8	3	高橋 浩二(米子市役所) 田子 信朗(田子モータース) 田辺 万聡(インテックタナベ)	
ゴルフ	成年男子	個人	1	-	桐谷 龍平(グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部)	
	女子	団体	6	6	鈴木 愛 鈴木 花奈(倉吉北高校) 山本 気恵(米子北斗高校)	

【入賞者数】 14競技34種目74人 (昨年は14競技36種目76人)